

令和2年度 神戸市水の科学博物館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	水及び水道に関する資料を収集し、及び展示して市民の利用に供することにより、水道事業に関する知識の普及及び啓発を図るため、設置。水の科学博物館及び事務所がある。	
(2)指定管理者	神戸市水道サービス公社	
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額38,894,000円	決算額29,098,855円

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		2年度の状況
	①施設の維持管理業務	(1)4月1日～9月30日 館長1名、管理運営スタッフ2名、警備スタッフ1名の総数4名で管理運営。 (2)10月1日～3月31日 館長1名、警備スタッフ1名の総数2名で管理運営。 ★機械警備、清掃、建物・設備管理、電気設備点検及び植栽管理を適正に実施。
	②施設の運営業務	(1)4月1日～5月31日 新型コロナウイルス感染症拡大による政府の緊急事態宣言発出及び、全学的な方針にもとづき、全館休館対応を行った。 (2)6月2日～9月30日(6月1日は休館日) 新型コロナウイルス感染リスクの低い屋外部分を限定開放。なお、市内市立小学校の夏休み期間(7月23日～8月17日)は、例年多くの来館者が訪れるため、屋外部分の開放に加え、博物館内のテーマシアターに限り定員58名のところを15名以下とし、事前予約制で受け入れを行った。(テーマシアター利用者計23名) (3)10月1日～3月31日 展示物が体験型・接触型であり、また十分な広さ・間隔を確保できない等、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら効率的な運営を行うことが困難であり、大幅な利用制限を実施しながら水道事業の広報拠点として活用し続けることが難しいことから、全館休館対応の上、3月31日での閉館方針を決定した。 応募提案時には新型コロナウイルスの影響は想定し得なかったが、休館に関する情報をホームページ等を活用して市民に情報発信を行ったほか、関係団体等への周知及びあいさつ回りや、問い合わせへの対応を丁寧に行った。 また、博物館・事務所に残る備品等について、ニーズが認められないものはやむを得ず処分を行ったものの、引き続き使用可能なものは市関連施設等に引き渡すなど、調整や整理を着実に実施した。
(2)利用状況		2年度の状況
	①施設利用状況	【入館者数】 令和2年度: 1,308人(4月1日～5月31日, 10月1日～3月31日は休館) 令和元年度: 45,746人(3月2日～3月31日は休館) 平成30年度: 44,555人
(3)収支状況		2年度の状況
	①使用料または利用料金収入	なし
	②指定管理者の収支状況	収入: 29,109,188円 支出: 29,109,188円

(4)その他		2年度の状況
	①行動指針に対する対応	<p>【目指す姿】 利用しやすく、市民に親しまれる魅力的な水道事業の広報拠点。</p> <p>【対応】 新型コロナウイルス感染症への対策が必要な状況の下で、来館者の安全を確保するためには、博物館の利用を大幅に制限せざるを得ない状況ではあったが、緊急事態宣言解除後の6月2日～9月30日は屋外部分を限定開放し、市内市立小学校の夏休み期間(7月23日～8月17日)は、博物館内のテーマシアターを事前予約制で受け入れを行うなど、可能な限り柔軟な運営を行った。</p>

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

		提案内容(目標値など)	達成状況
	①利用者数または利用率	入館者数目標:4.5万人	入館者数:1,308人 (4月1日～5月31日, 10月1日～3月31日は休館)
	②収入目標額	—	—

4. 利用者の満足度調査等

		2年度の状況
	①満足度調査の実施内容	—
	②満足度調査の結果	—

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、博物館の利用を大幅に制限した結果、入館者数目標等、当初の提案内容を実現できなかったことはやむを得ない。</p> <p>一方、休館後は人件費をはじめとする経費の削減に努めたほか、関係団体等への閉館に関する周知活動や、博物館・事務所に残る備品の整理等、臨機応変かつ適切に残務処理を行ったことは、評価に値する。</p>